

NEWS

モリコロパーク「もりの学舎」春休み特別企画

環境学習イベント「自然とふれあう活動」開催

「もりの学舎」は、愛・地球博記念公園の親林楽園ゾーンにある愛知県の環境学習施設です。「自然とふれあう活動」は環境学習のイベントとして、愛知県環境部ともりの学舎自然学校が、(一社)愛知県産業廃棄物協会の協力を得て、実施しています。主旨は“モノは大事に末長く使いましょう”として、もったいない精神や軽包装、マイバッグ持参、雨水や風呂の残り湯の再利用、古紙、空き缶、ペットボトルの資源回収等を推奨しています。

春休み特別企画は、3月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)、4月2日(土)、3日(日)に開催されました。

前日までの雨模様はイベント初日には日が射す天気となり、モリコロパークの各エリアの催事は多くの来訪者で賑わいました。もりの学舎にも年配のご夫婦や友人同士、子ども連れのご家族などの来館者が多数訪れるなど、明るい声かもりの学舎周辺に響きました。

館内1階ではあそび工房が開催され、牛乳パックとセロファンで作る光の小箱は、完成時に「わあー！きれーい！」と歓声があがります。他にも紙トンボ、

森のフォトフレームがあり、どれも人気の工作教室です。

「インタープリターと歩くもりのツアー」は、1時から“かめの池コース”があり、かめの池を周り樹木の名前、由来などインタープリターから教わり、流れる水のせせらぎに耳を傾けるなど、日頃なかなか自然に触れる時間の少ない方の癒しのコースです。14時からは“森コース”があり、もりの学舎の裏山に入り、道々樹木の特徴について解説を聞きながら歩きます。3月はいろいろな新芽を見ることができ、春をじかに感じるができる楽しいコースです。

協会展示パネルは館内2階に設置され、夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーの写真を始め、協会の各種行事の内容が展示され、興味深く見られます。中でも昨年「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」を締結された愛知県の地図は目を引きました。午後には訪れた家族連れの方と事務局職員が楽しく会話し、パネルの前で記念写真を撮らせていただくなど、充実した環境学習イベントとなりました。

